



ふたば

No.6

令和6年9月30日
清新ふたば小学校
学校長 三柴 祐子

心も体ものびゆく秋

暑さがだいふ取り、過ごしやすい季節となりました。それぞれの学年が目標や行事に向かって、学びを積み重ねています。大きな行事が無いぶん、落ち着いて学習できる時期にもなります。9月24日(火)から「ふたばっこ study week」があり、iPad 内の「ドリルパーク」を活用し、個々の理解度に応じた学習をしました。学習を定着させるためには学校での学びのみならず家庭学習も大切です。教職員一同、授業や教育活動に一層専念してまいりますので、御家庭でも引き続き宿題や家庭学習の御協力をよろしくお願い申し上げます。なお「ドリルパーク」は自宅でも活用してよいことになっていますので、ぜひ御活用ください。

9月26日(木)朝、集会委員会による「宝探し」を校庭で行いました。集会当日に向けて、集会委員会の子どもたちが「手作りミニ旗(爪楊枝にマスキングテープなどを巻いて作ったもの)」を300本も作り、それを集会前に校庭に隠しておいてくれました。普段の集会と一味違う活動に、全校の子どもたちが、わくわく。スタートの合図と同時に走り出す子、木や石の間を丹念に見る子…楽しく探しました。「手作りミニ旗」の中には当たりの旗があり、それを見つけた人には折り紙で作った手作りメダルが渡されました。当たりの旗以外の旗もかわいらしい柄で、低学年の子どもたちが「これ、ほしいなあ」と言いながら見つけた旗を大切に握りしめている姿も大変ほほえましかったです。

9月18日(水)～20日(金)の5年生のセカンドスクール(魚沼市での宿泊行事)では、例年のない試みをしました。担任3人の「公平な集団行動をして安心安全で最高の楽しい思い出をつくるためにはどんな計画を立てたらよいか」という問いかけのもと、子どもたちが主体的に数か月かけて計画を立てて準備をしました。そのうえでの3日間の宿泊行事。残念ながら天気には恵まれませんでした。子どもたちの行動力と、達成感・充実感いっぱいの姿から、新6年生への芽生えを垣間見ることができました。

2学期から安全指導用の旗が新しくなりました。本校の保護者が作成してくださったものです。毎日、ありがたく使わせていただいております。私は校門前の横断歩道でその旗を持ちながら安全指導や挨拶をしています。災害用マンホールトイレ設置工事で正門が使えないため、本校の教職員も輪番で横断歩道からやまびこ公園側の門への誘導のために立っています。当番ではない教職員も、玄関や校舎内で、登校指導や健康観察をするとともに挨拶をしたり子どもたちとコミュニケーションをとったりしています。保護者の方や地域の方も、御多用の中、横断歩道ややまびこ公園側の門にて子どもたちを見守り、挨拶をしたり声をかけたりしてくださっています。先週は4年生が挨拶を学年週目標にしてがんばってくれました。清新ふたば小学校の子どもたちには、人と人とのかかわりを大切にして、気持ちのよい挨拶ができる人になってほしいと願っています。今後とも本校の教育活動に御理解と御協力をよろしくお願いいたします。